



イオンモール名古屋茶屋で行われたイベント

電力自由化を 消費者にPR

名古屋で経産省

経済産業省は三日、電力自由化について消費者に周知するイベント「電力自由化キャラバン」を、中部地方では初めて名古屋市港区のショッピングセンターで開いた。

鈴木淳司経産副大臣は「多くの企業の競争で電気が安くなったり、新たなサービスが登場する」と自由化のメリットを強調。東邦ガスやソフトバンクなど新規参入した四社が、自社の電気料金プランの特徴をPRした。同市中村区の会社

員男性(左)は「メリットとデメリットを見極めて光熱費を減らしたい」と話していた。キャラバンは二月末から四月末にかけて全国三十カ所で開催する。

電力自由化 経産省が説明会

イオンモール
名古屋茶屋で

経済産業省・電力取引監視等委員会は三日、家庭向けの電力自由化をテーマにしたイベント「電力自由化キャラバン」を名古屋市内で開催した。

会場は、名古屋市港区の大型ショッピングセンター「イオンモール名古屋茶

屋」。電力自由化をテーマにしたクイズや経産省の職員が消費者からの疑問に答える相談会などを行った。

会場に訪れた鈴木淳司・経産副大臣は「電力自由化で事業者間の競争が始まる。競争で料金も下がる。消費者自ら電力会社やメニューを選べるようになる」と強調していた。



経済産業省が開いた電力小売り自由化の周知イベント—名古屋市港区で

電力自由化をPR

名古屋クイズやパネル展示

一日から始まった電力の小売り全面自由化を紹介するためのイベント「電力自由化キャラバン」が三日、名古屋市港区のイオンモール名古屋茶屋で開催された。経済産業省主催で、鈴木淳司副経産相や同

省職員が「電力小売り自由化クイズ」やパネル展示などでPRした。クイズでは、「電力会社を変えると新たに電線を引かなければならないか」「契約したら電力会社が倒産したら

電気は止まるのか」などの問題が出された。会場に来ていた人らは「〇」「×」で回答し、正解の解説について熱心に耳を傾けていた。また、小売り電気事業者4社が自社サービスの特徴などをそれぞれ説明した。

【山本佳孝】